

送信先：大津・彦根地区報道機関 全2枚  
報道関係者 各位【発信元】：滋賀大学 広報課  
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1-1-1  
TEL 0749-27-7524 FAX 0749-27-1129  
E-Mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp

## イベントで終わらせない稲作体験学習を目指して — 田植えを通して食と農をめぐる環境について考える —

4月29日、30日に教員を目指す学生たちが農業体験学習で田植えを行います。

日時		内容	場所
4月29日（土）	8:30 ~ 14:30	田植え体験 1グループ1時間半の予定で、 2日間で8グループが体験	大津市 大石淀1丁目2 （別添の通り）
4月30日（日）	8:30 ~ 14:30		

※小雨決行。大雨の場合は5月3日、4日に延期。

※延期の判断は当日早朝に行います。

この取り組みは、教育学部教養科目「環境教育概論」で行うものです。今回、学生たちは自然環境に配慮して栽培される「みずかがみ」の田植えをし、今後は稲刈りや、収穫したお米を使っての炊飯や日本酒の仕込みなどを行い、その体験をベースにした探究的な学習を行います。

小学校などで行われる米作り体験学習は、農家さんの田んぼで実施されることも多く、学校から田んぼまでの移動時間などの制約で、米作りの途中の工程を子どもたちが知らないまま、田植え、稲刈りがイベント的に実施されていることがあります。教員は、稲の成長の様子や農家さんの仕事や思いなどを子どもたちに伝えて、単なるイベントで終わらないように体験学習をコーディネートする必要があります。そこで、教員を目指す学生たちは田植えや稲刈りなどの体験をベースに、「稲の生長や田んぼの生物について経時的に観察し HP で発信する」、「実体験や取材をもとに小学校向けの学習教材を作成する」、「米の消費拡大のため、取材やアンケートをもとに PR するポスターを作成してお店に掲示する」（昨年度の例）などグループで課題を設定し、環境・農・食や人との繋がりについて探究的な学習を行っていきます。

このプロジェクトでは、地域の生産者である植村喜代司（うえむら・きよし）様、北島酒造株式会社（湖南市：蔵元 北島輝人（きたじま・てるひと））様に多大なご協力、ご指導を頂いています。

### ◆取材に関するお願い

取材される場合には、4月28日17時まで  
に右記の問い合わせ先までご連絡をいただけ  
ますと幸いです。

### 【リリースに関するお問い合わせ先】

滋賀大学広報課

TEL : 0749-27-7524

E-Mail : koho@biwako.shiga-u.ac.jp



地図データ ©2022 100 m

歩行者 県道783号 経由	7分 600 m
歩行者 県道783号 経由	7分 600 m
全ルートがほぼ平坦	▼

ライブ交通情報 高速 低速